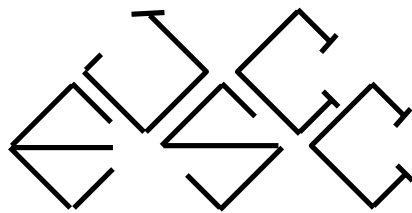


日中環境協力支援センター有限公司

～日中環境協力、CSR 協力、エネルギー協力、リサイクルビジネスの架け橋～

Japan-China Environment Service Center



設立：2005年4月1日

住所：大阪府松原市岡2-12-4

中国連絡先：北京市朝陽区東三環中路39号
建外SOHO11号楼706室

日中協力機構内

E-mail：info@jcesc.com

URL：http://www.jcesc.com

代表：取締役 大野木昇司

取引銀行：三菱東京UFJ銀行 松原支店

更新2006年5月5日

中国環境・エネルギー・CSR 協力支援サービス一覧

1. 調査研究事業
 - 各種中国環境・エネルギー・CSR 関連委託調査・研究：専門家リスト作り、中国環境問題重点領域研究
2. 中国環境・エネルギー・CSR 情報収集事業
 - 『週刊中国環境 CSR ニュース』配信
 - オーダーメイド型 中国環境・エネルギー・CSR 情報提供サービス
 - シンポジウム代理参加・情報収集サービス
3. ビジネス支援
 - 環境・エネルギー関連製品・サービスの販売支援
 - 中国環境・エネルギー・CSR 視察ツアーの企画、アテンド
 - 環境・エネルギー・CSR 関連の広告代理
 - モデル事業立ち上げ支援
4. その他
 - 各種環境・エネルギー・CSR 関連文書の翻訳
 - 環境・エネルギー・CSR 交流会の開催
 - 環境・エネルギー・CSR の専門家、行政機関、研究機関、企業などの仲介

2005 年度の主な事業実績

1. 調査研究部門

公益法人他

- A 独立行政法人：日中経済連携研究調査（大学教授と共同執筆）
- B 独立行政法人：中国研修プロジェクト支援（継続中）
- 国際協力銀行：2005 年対中円借款の中国メディア報道調査

民間企業

- A 社：中国北方一部開発区における工場環境マネジメント
中国北方一部開発区における工場環境周辺マネジメント
- B 社：会員向け環境情報誌・中国進出企業の環境対策

その他

- 中日友好環境保全センター：日本対中環境協力調査支援

2. 中国環境情報収集事業

- 『週刊中国環境 CSR ニュース』

3. ビジネス支援

- 中国環境報社：広告代理(1 部のみ)

4. その他

公益法人他

- A 特定非営利活動法人：月刊中国環境ニュース翻訳
- B 環境省系財団法人：中国環境情報配信翻訳
- C 経産省系独立行政法人：中国情報編集・翻訳業務

履歴・業歴書

大野 木 昇 司 1972年8月生
現職 日中環境協力支援センター有限会社 取締役

「日中環境戦略研究家」ウェブサイト及び「中国環境・CSR・エネルギーレポート」メールマガジンを管理・運営

<http://www.realintegrity.net/~onogish/>

経歴

1995年3月 京都大学工学部衛生工学科卒業
1998年3月 京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻修了(修士課程)
2002年6月 中国北京大学環境学院環境科学専攻修了(修士課程)
2002年9月 中国天津日中大学院環境管理学科専任講師(2003年1月まで)
2003年4月 国土環境株式会社 北京事務所入社(2005年3月まで)
社団法人海外環境協力センター 兼職で客員研究員(2005年3月まで)
2005年4月 日中環境協力支援センター(有)を設立、代表に就任。北京にて長期出張

専門領域

中国環境ビジネス、中国環境政策、日中環境協力、日中エネルギー協力、中国 CSR 活動

主要論文・著作等

- ・2002年6月 北京大学城市與環境学系 環境科学専攻 環境管理方向 修士論文
『中国報紙關於日中環境合作事業的報道分析』(訳:日中環境協力に関する中国新聞の報道分析)
- ・2002年12月30日 人民日報系サイト「人民網」掲載
『北京環境ボランティアネットワークの活動紹介と存在意義』(中国語)
- ・2003年1月17日 人民日報掲載(人民日報系サイト「人民網」にも掲載)
『緑手印フォーラム 自動車流行時代に如何に青空を守るか 各自の意見』
- ・2003年2月 北京日本語タウン誌・スーパーシティ北京 寄稿
- ・2003年7月 OECC(社団法人海外環境協力センター)会報『OECC 中国駐在員だより』
- ・2003年10月8日 ジェトロ叢書『職在中国』(副題:40人の日本人が語る就職企業チャレンジ)
第四章「現地採用者・起業者の声」で、私の中国経験の話が6ページにわたって掲載
- ・2003年10月から、週刊『エネルギーと環境』に連載開始
- ・2004年1月 中国科学院主管の雑誌『中国国家地理』フカヒレ論争に中国語で寄稿
- ・2004年1月末から、水道産業新聞に中国水環境記事を翻訳・転載開始
- ・2004年4月 北京日本語タウン誌・スーパーシティ北京 掲載
「風吹く草原からエネルギーが届く日」
- ・2004年6月から、月刊中国環境保護雑誌『綠色家園』NGO活動情報コーナーの執筆担当
- ・2004年8月 NHK テレビ中国語会話テキスト(8月号)
「今、中国で働く」コーナーで私のインタビュー掲載
- ・2004年8月 『中国年鑑2004』(中国研究所編)の一部執筆担当

- 特集・重大化する中国の環境問題の「グリーンオリンピック」解説コーナー執筆
- ・2004年9月 『中日水務情報』創刊号(初の日中両言語による水総合専門誌)
「中国で活躍する日本人を訪ねて」コーナーで私のインタビューが掲載
- ・2004年12月 『中国環境ハンドブック 2005-2006年版』(蒼蒼社、中国環境問題研究会編)
「諸外国政府機関、国際機関の活動」部分執筆
- ・2004年12月 日本語情報誌『スーパーシティ北京』12月号に寄稿
「中国も家電リサイクルへ 拡大生産者責任制導入が検討される」
- ・2004年12月 中国CDM業界誌『中国CDM市場追跡レポート』に中国語で寄稿
「日本・京都議定書温暖化ガス削減戦略と中国CDM事業のチャンス」
- ・2005年2月 中国環境雑誌『綠色中国』2月号に中国語で寄稿
小論文「稲むらの火に見る日本の津波対策」
- ・2005年4月 『日経エコロジーECO』5月号
第一特集・「中国を汚すな!動く日系企業」から取材を受ける

その他、『環境新聞』、『水道産業新聞』、『中日水務情報』、『週刊エネルギーと環境』(終了)に長期連載。

これまでの実績

会議発表

- ・1998年日本原子力学会(於近畿大学)
『新聞論調からみた原子力界 - 問題点の推移と今後の展望 - 』
- ・2001年3月 北京環境ボランティアネットワーク 2001年第2回学習会
(於日中友好環境保全センター)『中国の環境問題概要 ~日中比較を通して~』
- ・2002年5月 第4回BS-02研究会(於清華大学)『対中環境援助の中国紙での報道状況』
- ・2002年7月 環境教育会議(於甲南大学)『日中環境協力の中国紙での報道分析』
- ・2002年12月 北京環境ボランティアネットワーク主催
(中国社会科学院環境・発展研究センター後援)
パネルディスカッション『ボランティアと環境保護』
パネラー発表『北京環境ボランティアネットワークの活動紹介と存在意義』
- ・2004年4月 日中民間水フォーラム(北京国際会議センター)
「水と経済」分科会『中国環境ビジネス成功のための試案』
- ・2004年12月 天津 環境・循環経済国際シンポジウム(於天津南開大学)
会議発表「日本のエコタウンの概要と問題点」(中国語)
- ・2005年5月 中国環境科学学会 2005年年会 環境会計分科会
会議発表「日本の環境会計普及の原因と中国での普及策」(中国語)
- ・2005年9月 「新郷土運動」フォーラム
会議発表「日本の環境問題と日中環境協力について」(中国語)
- ・2005年9月 環境保護市民参加国際シンポジウム(国家環境保護総局宣伝教育センター等主催)
会議発表「日本の環境会計」(中国語)
- ・2005年10月16日 清華大学学生綠色協会設立10周年記念「青年・責任・環境フォーラム」
ゲスト講演「日本のエコタウン政策とその課題」(中国語)
- ・2005年11月22日 環境立法・持続的発展国際フォーラム(全人代環境資源保護委員会主催)
会議発表「日本の環境会計普及の原因分析」(中国語)
- ・2005年11月24日 「中国グリーン国民経済体系研究」国際シンポジウム
(環境保護総局、世界銀行、イタリア信託銀行主催)

- 会議発表「日本のグリーン国民経済体系研究状況」(中国語)
- ・2005年11月29日 東アジア環境・資源経済シンポジウム
(人民大学環境学院、日本環境経済・政策学会、京都大学大学院 COE 計画等共同開催)
会議発表「日本の環境会計普及の原因分析」(中国語)
- ・2005年12月1日 「循環経済と人・自然調和社会建設 学術フォーラム」(南開大学環境学院主催)
会議発表「日本の環境会計普及の原因分析」(中国語)

講演会

- ・2001年4月19日 於国際関係学院 『日中環境協力の現状』
- ・2002年5月18日 北京環境ボランティアネットワーク学習会 於東苑公寓会議室
『日本の対中環境協力の中国紙での報道状況』
- ・2002年11月14日 天津科技大学緑色環保協会「原野の風」(於天津科技大学)
『日本における使用済み乾電池の回収・処理の現状』(中国語)
- ・2004年10月14日 清華大学環境講演会(清華大学法学院環境資源法研究センター主催)
『日中環境協力：歴史、形態と今後の発展』(中国語)

調査研究

公的機関

- A 対外援助機関：「中国環境情報収集整理提供事業(2003年4月～2004年2月)」
- A 対外援助機関：「対中円借款の中国メディア報道調査」(2006年2月)
- B 対外援助機関：中国環境 ODA 私的勉強会報告書「中国環境問題(汚染分野)と重点課題」
(2003年12月～2004年3月、中国の環境専門家4名と研究チームを作り受託。)
- B 対外援助機関：「環境協力情報収集等業務実施」事業
(1期04年7月～05年2月、2期05年7月～05年12月)
- B 対外援助機関：「林業生態情報収集等業務」事業(2005年2月～2006年3月)
- C 科技系機関：「中国環境科学研究機関・研究者データベース作成」事業
(2004年8月～2004年11月)
- D 貿易支援機関：日中経済協力戦略方案の環境協力部分の調査

民間企業

- A 社：中国北方一部開発区における工場環境マネジメント
中国北方一部開発区における工場環境周辺マネジメント
- B 社：会員向け環境情報誌・中国進出企業の環境対策
- C 社：主要自動車メーカーの中国内環境対策・CSR 対策調査

その他

- 中日友好環境保全センター：「日中協力中西部地区環境系大学・学部教育支援事業のための予備調査」
- 中日友好環境保全センター：「日本対中環境円借款事業評価」支援